



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社トンボはSDGs実現に向けた取り組みを実施しています。

TOMBOW CSR REPORT 2025

トンボCSRレポート 2025

2024.7.1~2025.6.30



人と自然を大切にしたい価値ある製品づくりを
株式会社 トンボ

トンボCSRレポートに関するお問い合わせ先
 株式会社トンボ サステナビリティ推進本部
 〒700-0985 岡山市北区厚生町二丁目2番9号
 TEL.086-232-0368 FAX.086-225-6680



この製品は、適切に管理されたFSC® 認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。
 インキは環境負荷の少ない植物油インキを使用しています。



この製品に使用している書体は、より多くの人が読みやすく、誤読されにくいように考慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。





コーポレートスローガン

人と自然を大切にした価値ある製品づくりを

コーポレートスローガンは、「最良のユニフォームメーカー」をめざす企業姿勢をシンボリックに言い換えたものです

私たちの使命

トンボブランドのもと、最良のユニフォームメーカーをめざし社会に役立つ確かな価値を創造し、提供します

私たちの行動指針

- ・愛と汗の精神で、人を大切にし、全員経営をめざします
- ・信用を重んじ、約束を守り、誠実に行動します
- ・縁を大切にし、相手の立場を尊重します
- ・社会に役立つ、心の通った開発をめざします
- ・自然と環境に配慮した活動を行います

トンボは2025年7月から第7次中期3か年計画をスタートさせました。その中ではCSR経営の方向性を明確にしています。

- ①グループとして法令順守に向けた管理体制強化
- ②CSR※1・EMS※2・PMS※3・BCP※4への取り組み継続強化
- ③持続可能なサプライチェーンの構築
(パートナーシップ構築宣言の遵守)
- ④南海トラフ・首都直下型災害への具体的対策検討
- ⑤デッドストック商品の資源活用
- ⑥学校への環境授業の実施
- ⑦環境配慮設計ガイドラインへの対応と環境に負荷をかけない材料・製品・設備への切り替え
- ⑧トンボ独自の循環型リサイクルシステムの実施

③のパートナーシップ構築宣言では、今までも常識やマナーとして自律的に行動していた項目を言葉にし、活字に落とし込むことによって企業双方が互いを尊重し、約束を守り抜くことの大切さが明確になり、ひいてはそれが大きな力となることを実感しています。

一方、持続可能な企業活動の原動力となるのが言うまでもなく社員です。昨今、特に若い世代の離職率が取り上げられます。幸い当社の離職率は高くありませんが、せっかく入社してくれた社員の退職は看過できない課題です。トンボは昨年、全社員対象に社員の熱意や会社への愛着、組織とのつながりの強さを数値化して把握するエンゲージメントサーベイを実施しました。そこで

再認識できたのが、「自分の会社はいい会社だ」と感じる場所は給与や休日数もちろんありますが、それ以上に重視しているのは、やりがいや働きやすい環境、正当な自分への評価でした。それをふまえて様々な制度改革や福利厚生の充実に取り組んでいます。社員の不安や不公平感をなくし、平等に成長の機会を提供することでやりがいを感じてもらえようと考えます。

厚生労働省から2024年の出生者数が70万人を割るという発表がありました。人口減は全ての経済活動に影響を及ぼします。トンボでは新規事業、業態転換、また事業のポートフォリオの最適化など様々な挑戦がスタートしております。

労働人口的には女性の活躍がさらに不可欠となり、企業としての子育て支援も今以上に充実しなくてはなりません。

すべてのステークホルダーの皆様とのパートナーシップを高めて、あらゆる変化に敢然と立ち向かってまいります。今後ともトンボをどうぞよろしくお願い申し上げます。

※1 CSR (Corporate Social Responsibility) : 企業の社会的責任。社会における企業のあり方、地域社会の中での役割・責任。
 ※2 EMS (Environmental Management System) : 環境マネジメントシステム。組織が環境保全の方針や目標を定め、その達成に向けて取り組むためのシステム。
 ※3 PMS (Personal information protection management systems) : 個人情報保護マネジメントシステム。組織が取り扱う個人情報を適切・安全に管理するためのシステム。
 ※4 BCP (Business Continuity Plan) : 事業継続計画。災害等の有事の際に、事業継続や早期復旧を図るために策定する計画。

トンボは、来年の2026年5月10日に創業150周年を迎えます。

これを記念し、スコットランドの老舗タータンメーカー、LOCHCARRON (ロキャロン社) で「The TOMBOW 150th Anniversary Tartan」を制作いたしました。



- ブルー 『コーポレートブルー』: 誇り・尊敬
- ネイビー 『コンプライアンスの徹底』: 信用・誠実
- ピンク 『ダイバーシティ経営』: 多様性・感謝
- グリーン 『人と自然を大切にした価値ある製品づくり』: 環境保全
- ホワイト 『ファーストコールカンパニーの実現』: 全員経営

このAnniversary Tartan (アニバーサリータータン) を、2025年4月15日、駐日英国大使館公邸で開催されたレセプションにて、150周年記念事業の一環として先行発表させていただきました。当レセプションは、両国間での文化的な交流を促進するとともにビジネス関係を深めることを目的としたものです。今後、このAnniversary Tartan (アニバーサリータータン) は、150周年記念事業等、様々な場面やアイテムに使用していきます。



会社概要

社名	株式会社トンボ
事業内容	スクールユニフォーム スポーツウェア 介護・メディカルウェアなどの 企画、製造、販売
URL	https://www.tombow.gr.jp
会社設立	1924(大正13)年5月10日 創業:1876(明治9)年
資本金	2億6187万円
代表者	取締役社長 藤原 竜也
従業員数	1,880人 (2025年6月末現在のグループ合計数)
本店	玉野本社工場
事業所	岡山本社 東京本社 名古屋支店 大阪支店 岡山営業所 松江営業所 広島支店 愛媛営業所 福岡支店 北九州営業所 ユニフォーム研究開発センター 岡山工場 美咲工場 玉野物流センター 紅陽台物流センター 昇華センター 東京物流センター
関連会社	北海道トンボ株式会社 秋田トンボ株式会社 宮城トンボ株式会社 福島トンボ株式会社 茨城トンボ株式会社 関東トンボ株式会社 新潟トンボ株式会社 長野トンボ株式会社 徳島トンボ株式会社 南九州トンボ株式会社 株式会社モリ商会 株式会社フォワード 株式会社トム 株式会社マリカ 株式会社マイク 株式会社ユニフォーム・コンシェルジュ 株式会社スクールショップ佐々木 株式会社トンボ保険サービス 株式会社創作屋
生産関係 関連会社	トンボソーイング株式会社 サントンボ服装株式会社 株式会社ハートヒルズ 株式会社トンボ倉吉工房 トンボプラザ株式会社 トンボクロージング株式会社

- <凡例>
- 本社
 - 支店・営業所
 - 関連会社
 - 生産・物流・研究開発拠点
関連会社(生産関係)

営業拠点

岡山本社と東京本社の両本社体制をとっており、全国の支店・営業所と合わせて10ヶ所の営業拠点を設けています。



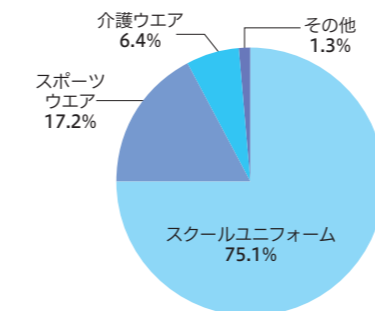
生産・物流・研究開発拠点

岡山県内に工場を3拠点と物流センターを3拠点、そして昇華センター、ユニフォーム研究開発センターを設けています。

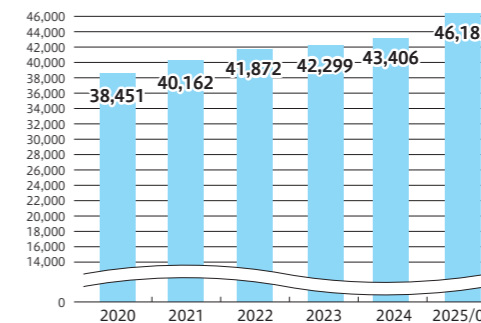


玉野本社工場・物流センター

売上高構成比率



連結売上高 (単位:百万円)



ブランド一覧

スクール事業

幼稚園から短大・専門学校までのスクールユニフォーム



スポーツ事業

幼稚園から高校までのスポーツウェア



ヘルスケア事業

介護スタッフユニフォーム、被介護者向けウェア、医療白衣、検診受診者用ウェアなど

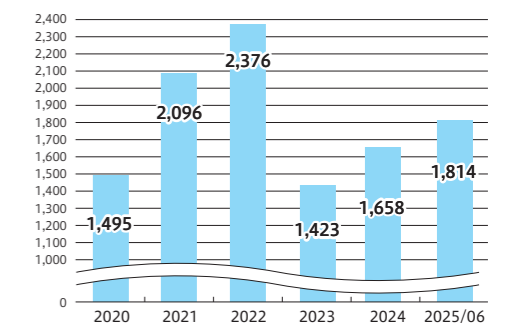


その他事業

ペット用品



連結経常利益 (単位:百万円)



信頼されるユニフォームメーカーとして、 制服の役割や着こなし方の 啓発活動も積極的に

トンボは「最良のユニフォームメーカー」をめざし、価値の高い製品を追究し、高い信頼と評価の声をいただいています。またつくり手の責任として、展示会やセミナーを通じて、制服の意義・役割や美しい着こなし方に関する啓発活動も積極的に行っています。

Report 01

全国で3年連続700校超のモデルチェンジ 時代のニーズと学校の想いを制服に

LGBTQへの配慮が時代の潮流となる中、男女の区別なく着用できるプレザースタイルへの移行が2023年から急速に進んでいます。2025年度には700校を超える学校で制服のモデルチェンジが行われました。トンボでも多数の学校に採用され、多くの新しいご縁をいただいています。

トンボは業界で初めてスクール・アイデンティティ (S.I.) を提唱しました。制服改定を検討する学校とのコミュニケーションを何より大切に、それぞれの学校の想いやニーズを制服デザインに反映した精神(こころ)を制服(カタチ)にする姿勢は、多くの学校から高い信頼と評価をいただいています。



Report 02

制服の本質・スタンダードを追究する SHIPS×トンボのコラボレーベル始動

2024年9月、トンボはセレクトショップの「SHIPS」(株式会社シップス)とライセンス契約を締結し、新たに「SHIPS SCHOOL YEARS」レーベルを展開します。コンセプトは、「For your smiling face」、スタンダードの本質を見極めたトラッドスタイル。「服にこだわる」シップスと、「学校らしさ・生徒らしさの表現にこだわる」トンボがコラボレーションすることにより、学生時代の経験や思い出を刻み、共に歩んでいけるような「こだわりの制服」をさらに突き詰めてまいります。



Report 03

制服のチカラ、トンボのチカラを 総合展示会のご来場者にアピール

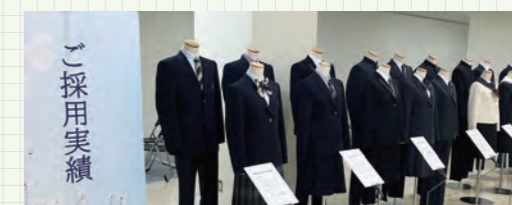
総合展示会を、2024年11月に東京・大阪・名古屋・福岡の4会場で開催しました。今期の展示会テーマは「制服のチカラ」。制服には相手を安心させる力や帰属意識の醸成、オンとオフの切り替えなど、多くのチカラ(機能)があります。会場では、様々な職業のユニフォームを例に、制服のもつチカラを紹介しました。また学校制服のチカラをかたちにするトンボの企業力を、開発力・提案力・問題解決力・生産力の4つのブースを設けてアピールしました。



Report 04

地域ごとの制服ニーズ・特性に応える 地方展示会を全国15か所で開催

総合展示会に加えて、全国15か所で地方展示会を開催。それぞれの地域によって好まれるデザイン傾向や必要な機能性、選ばれるオプションアイテムなどには大きな違いがあります。各地の特性に応じてカスタマイズした独自の展示企画を展開しています。学校の想いやニーズに寄り添い、身近に感じていただける展示会とすることで、多数の方にご来場いただくことができました。



Report 05

遠く離れた学校の多くの生徒へ Web工場見学・制服セミナーを開催

コロナ禍を機に工場見学のスタイルも大きく変化しました。工場にお越しいただく対面式だけでなく、工場と学校をオンラインで結びリモート工場見学の実施もより身近なものとなっています。2025年4月、大阪府の私立高校400名の生徒が、玉野本社工場とユニフォームミュージアムをリモートで見学。あわせて、制服の役割や着こなしについて学ぶ制服セミナーも開催。生徒からも熱心な質問が多数寄せられ、とても意義深い学びの場とすることができたと評価をいただきました。



Report 06

自然に還る生分解性ポリエステルを採用や フッ素フリー撥水機能への転換

環境に配慮した素材・仕様の製品をお届けするのは、メーカーとしての責務です。素材に関しては、従来からのペットボトル再生ポリエステルに加え、生分解性ポリエステルを使った新素材の採用を進め、マイクロプラスチックによる海洋汚染の抑制に役立っています。またPFAS^{※5}による健康リスクが懸念されるなか、制服に欠かせない「撥水機能」のフッ素フリーへの転換にも取り組んでいます。

※5 PFAS(Per- and polyFluoroAlkyl Substances・ピーファス):有機フッ素化合物のうち、炭素とフッ素の強い結合を持つ化学物質の総称。合羽や防水スプレーなど様々な生活用品に使用されてきた。



スポーツの楽しさ、そしてスポーツを通じた多くの学びを子ども達に届けたい

トンボは学校体育・部活を生産し全国の学校にお届けするとともに、スポーツの振興や子ども達の健全育成に資するさまざまな取り組みを進めています。

Report 01

UNDER ARMOURブランドに熱視線 立ち上げから3年で採用校は200校

ブランド契約から3年、UNDER ARMOURスポーツウエアは私立学校を中心に、2024年には64校の採用がありました。UNDER ARMOURのアイコンでもある個性的なカモフラージュ柄が多く学校の受け入れられており、既に200校近い学校に支持されています。



Report 02

身長3メートルの巨大マネキン登場 トンボの対応力を展示会でアピール

総合展示会にてアンダーアーマーコーナーは、新作デザインのウエアを中心に展示しました。その中央に3メートルマネキンを設置。見上げる程大きなマネキンは遠くからでも目を引く存在感で、ブランドのアイコンとしても注目を集めました。3メートルマネキンの着用するウエアは美咲工場で作りました。3mもある身長を生徒は実在しませんが、様々なサイズを製造しているトンボの対応力も来場者にアピールできました。このほかにもアンダーアーマーのイメージ映像を背景にするなど、視覚的なアプローチで先進性やブランドの洗練されたイメージを印象づける展示となりました。



同会場内、デジタルプリントの体験コーナーも実施しました。目の前で高機能なデジタルプリントをTシャツへ圧着する工程を体感いただきました。

Report 03

第一線で活躍したトップアスリートが全国の中学・高校に赴いて直接指導 VICTORYスポーツ教室

VICTORYスポーツ教室は「スポーツを通して心の教育」をテーマに、全国の中学校、高等学校に「憧れのアスリート」が直接赴き、講演と実技指導を行うプログラムです。実施校をはじめ各方面から毎年大きな反響をいただいています。



2024年度開催 横浜翠陵高等学校 神奈川県

日本人初のJリーグ得点王に輝き、引退後はコーチや解説者として活躍中の福田正博さんにお越しいただきました。勝負の世界での努力や準備の大切さについてのお話では、生徒たちも長年プロの世界で活躍したレジェンドならではの珠玉のアドバイスに真剣に耳を傾けていました。実技指導では具体的かつ実践的な言葉かけで技術のポイントをお教えいただき、実りある時間となりました。



2024年度開催 聖和学園高等学校 宮城県

2012年ロンドン五輪で、全日本女子バレーボール代表として28年ぶりの銅メダル獲得に貢献した迫田さおりさんを講師にお招きしました。講演会では長い競技生活を通して実体験から学んだことについてお話しいただきました。実技指導では技術だけでなく、協調性や集中力の重要性を実際に体を動かしながら指導していただき、生徒たちにとって有意義な時間となりました。

Report 04

全国13道府県で全9競技・28大会を開催 VICTORY CUP & TOMBOW CUPSスポーツ大会

スポーツを通じて、心と体の健全な成長を願い、VICTORY・TOMBOWそれぞれ地域に密着したスポーツ冠大会を実施しています。2024年度も様々な競技による28の大会を支援し、多くの生徒がスポーツを楽しめる環境を提供しています。これらの活動を通じて、健やかな成長を支える取り組みを続けてまいります。



野球(開催地:愛知県)

北海道

- ・バスケットボール男子: 中学校
- ・バスケットボール女子: 中学校
- ・ソフトボール選抜: ジュニア女子
- ・バレーボール女子: 中学校
- ・軟式野球: 中学校

宮城県

- ・バレーボール: 公立高校女子
- ・バレーボール: 私立高校女子
- ・バレーボール: ママさんバレー

茨城県

- ・サッカー: 高校
- ・バレーボール: 高校

群馬県

- ・ソフトテニス: 中学校(前橋)
- ・ソフトテニス: 中学校(高崎)
- ・サッカー: 中学校
- ・バスケットボール: 中学校(前橋)
- ・バスケットボール: 中学校(桐生)

東京都

- ・バレーボール: 高校

愛知県

- ・野球: 中学校

岐阜県

- ・ソフトテニス男子: 高校
- ・ソフトテニス女子: 高校

新潟県

- ・ラグビー: 高校
- ・ラグビー: ジュニア

和歌山県

- ・フェンシング: 高校

大阪府

- ・野球: 中学校
- ・バスケットボール: 中学校
- ・バレーボール: 中学校

兵庫県

- ・バレーボール: 高校

山口県

- ・サッカー: 高校

福岡県

- ・バレーボール: 中学校



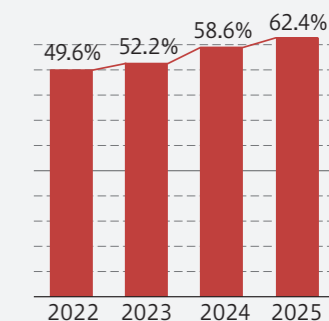
バレーボール(開催地:東京都)

Report 05

スポーツウエア全体に占める環境配慮型商品は4年間で13ポイント増加し62.4%を達成

持続可能な社会の実現に向けて、高性能と環境負荷低減の両立を目指した商品づくりを進めており、2022年より環境に配慮したスポーツウエアの開発に取り組んでいます。2025年は製造したウエアの62.4%を環境配慮型商品としてお客様に届けています。2050年の環境配慮型商品の製造が100%になることを目標に商品開発を進めてまいります。

<スポーツ環境配慮型商品製造比率>



介護するひと、される人 そのどちらにも優しい最良の ユニフォームをお届けするために

介護・医療スタッフや、施設利用者・患者によりそったウェアづくりで定評のあるキラクブランド。そのコンセプトは長年にわたってかたくなに守りながら、最新の素材技術や学術研究も積極的に採用し、進化を続けています。

Report 01 KIRAKUブランド誕生30周年



変わること、 変わらないこと

介護・医療に特化したユニフォーム、高齢者ウェアとして1995年に誕生したキラクは2025年に30周年を迎えました。当初から守り続けているコンセプトは、「介護するひと、される人に優しいユニフォーム」であること。時代が変化する中でも、この原点を忘れることなく挑戦を重ね、新しい素材、新しいデザインを開発してきました。変わらないために、変わり続けることを恐れない。これからもキラクの進化は続きます。

KIRAKU 開発ストーリー

「Story1」

施設を訪問し、介護作業を体験することから始めました

現場主義

キラクがブランド発足当初から大切にしているのは、「現場主義」をベースにしたウェア開発です。介護という仕事の実際を知るために、介護施設に通い、食事や入浴介助、オムツ交換といった介護作業を実体験。特にハードな入浴介助では、車椅子からストレッチャーへの移乗や、体を洗う、拭くなど、ひとつひとつの作業に必要なウェアの機能が明確になり、多くの開発ヒントを得ることができました。



社会福祉法人 幸輝会 特別養護老人ホーム 幸輝園

「Story2」

お困りごと解消のために、何度も、何度も



機能性

介護作業を実体験してわかったのは、「つくり手の独善であってはいけない」ということ。現場で見聞きしたり実感した「お困りごと」に寄り添うことが大切だと思い知らされました。「かがんだときに窮屈」「入浴介助で蒸れる」といったお困りごとは、伸縮性や撥水性のある機能性素材を活用することで対応できますが、ウェアの設計・パターンの細部にこだわることで相乗効果が発揮されます。ウェアのどこにゆとりをもたせるか、ストレッチを効かせるかなど、介護施設の方にもサンプルを持参してご意見をいただき、何度も試作を重ねることで、キラクの製品は完成しています。

「Story3」

これからも、最高の一着のために

高品質

介護施設で働く方のユニフォームをはじめとして、高齢者のためのウェア、入院中や検査を受ける方のためのウェアなど、キラクが携わる分野は広がっています。ウェアに求められるのは着ごちだけでなく、通気性、速乾性、耐久性、利便性と多岐にわたります。そのためにはデザインはもちろん、素材の開発から、生地の編み方、異素材のミックスなど、様々な検証が欠かせません。現場主義を忘れることなく、これからも最高の一着をお届けするために、努力を惜しむことなく挑戦を続けていきます。



医療法人 至誠会 長岡保養園・介護医療院 長岡保養園 すま居る

1995

2010

2025

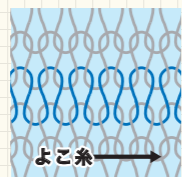
Report 02

業界初・工業洗濯に耐える
ニット素材を独自に開発

介護・医療のユニフォームとして、伸縮性・通気性に優れたニット素材は最適。その一方で、洗濯による縮み・型崩れしやすさが大きなネックとなっていました。キラクでは、ハードな工業洗濯でも縮みにくいニット素材を独自開発し1997年にリリース。画期的なウエアとして医療・介護業界や洗濯業界から大きな注目を集めたキラクの“丸編みニット”は、現在も進化を続けています。

丸編みニットとは

〈丸編みニット〉



ループ状の編地で
タテ・ヨコによく伸びる素材です。

Tシャツや運動着などに使われる

Merit.01

工業洗濯でも
縮みにくい!

Merit.02

デザイン性、通気性や
着心地はそのまま!

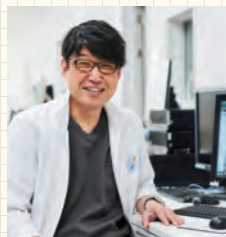


Report 03

産学連携の取り組みも積極的に推進
画期的なウエアは各方面から注目が

森ノ宮医療大学の今井信也先生とともに、
X線検査用ウエアを共同開発。

胸部X線撮影時に縫い目が写り込みにくい画期的な検診用シャツを、放射線計測学・放射線技術学専門の今井信也先生と共同開発。検査画像に写り込む服の縫い目や異物は誤診の原因となる可能性があるため、この検査着は、読影の精度をあげる画期的なウエアとして多くの期待が寄せられています。



森ノ宮医療大学
医療技術学部
診療放射線学科 教授
今井信也

X線画像に写り込みにくい
画期的な検診用シャツ



縫い目が写り込みにくい

やさしい着心地、さらさら素材
やわら着ニット

ボタン

自分で着替え
やすく脳への
刺激が
認知症
予防に

襟ぐり

羞恥心にも配慮した
はだけにくい襟ぐり



生地

伸縮性があり、動作を
妨げず転倒転落予防に



令和健康科学大学
看護学部 看護学科 講師
西原かおり

令和健康科学大学の西原かおり先生とともに、
着ごちがやさしくリハビリにも役立つ
ウエアを開発。

看護学のエキスパートである西原かおり先生とともに、“やわら着ニット”シリーズを共同開発。看護の現場を知りつくした西原先生ならではの着眼点で、患者さま・施設利用者さまやケアをする人にもやさしいウエアが誕生しました。

Report 04

利用者や家族、施設スタッフの笑顔の輪を
ひろげる取り組みを長年にわたり続けています

キラク介護川柳

ヘルスケア事業では毎年、介護にまつわる川柳を募集し、第17回は5,075点もの応募がありました。介護施設などを中心に、10～90代と幅広い年齢の方から作品が寄せられ、「日々の励みになる」「作品の発表の場になる」など嬉しいお声をいただいています。

応募数 5,075点

第17回受賞作品

(2024年9月発表)

■ キラク大賞

「車イス風切る速さ爽快だ」

ペンネームなし

■ 優秀賞

「支え合いたまにはよろけ笑い合う」

ペンネーム 豊作

「病む母の手に大吉の初神籤」

ペンネーム カンちゃん

「飲み込みを待って笑顔の小休止」

ペンネーム キクちゃん

■ 鈴木ひとみ賞

「母さんと旅するコンビニ徒歩2分」

ペンネーム あまた

■ 団体賞

デイサービス丘の家

キラクふれあいフォトコンテスト

介護のふれあいから生まれる「笑顔」と「感動」をテーマにしたフォトコンテストを開催しています。第15回の応募作品からは、施設の中でのコミュニケーションや、行事に楽しく参加されている様子を垣間見ることができました。写真に映るあたたかく素敵な表情は、見る人の心をも「笑顔」にしてくれます。

応募数 250点

第15回受賞作品

(2025年4月発表)

■ キラク大賞



「思わず」ペンネーム 小鹿なでしこ苑

■ 優秀賞



「可愛くてごめん」

ペンネーム ふなっこ

「私の一番好きなネタ」

ペンネーム みなかみの里



「鬼は外!福は内!」

ペンネーム 庭園のボス

全国約15,000校の生徒へ 入学式までに制服を届けるために

学校制服・体育着は入学・進級時期や衣替え期に需要が集中し、またブレザー制服の普及で多品種・小ロット・短納期生産が求められます。
トンボはユニフォームのトップメーカーとして、多くのお客さまの信頼を獲得しています。



Report 04 若手社員のコミュニケーションや チームワーク向上を図る研修制度

社員教育の一環として、品質管理やコミュニケーションを題材とした社内研修を行っています。ものづくりでは品質はもちろん、納期対応力も重要。仕掛りを少なくし、生産リードタイム短縮を目指すため、折り鶴ワーク、ペーパータワー作成などを通じて円滑な連携やチームワーク向上のための研修を行っています。若手社員中心に行っていますが、非常に活発な発言が交わされ職場にも良い影響が出ています。さらなる生産性、納期対応力、品質アップにむけて、こうした取り組みを継続していきます。

Report 01 協力工場をオンラインで結び、 進捗状況などの一元管理を実現

トンボの生産工場は本社工場、子社工場以外にも全国に協力工場があります。協力工場では生産の進捗管理や伝票発行などに手間取っていたため、それらを簡単に行えるWebベースのプラットフォームサイト「TPIS」(Tombo Product Information System)を構築、協力工場での利用を開始しました。今後も作業分散や負荷を軽減し、縫製に集中できる環境づくりや工場間で多くの情報が共有できるようなバージョンアップを重ね、利用する工場も増やしていく予定です。



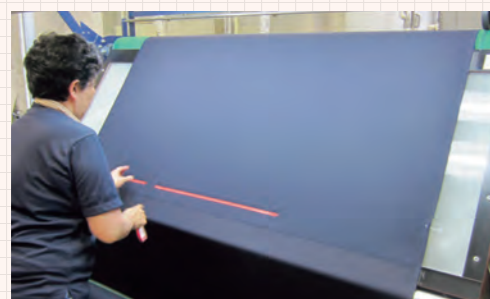
Report 05 ハンディターミナルを使った商品管理により、 正確かつ迅速な商品出荷を実現

物流サービス部では、新入学に向けて数万着を短期間で出荷する必要があります。正確な在庫管理と迅速な出荷を行うため、ハンディターミナルを導入。出荷伝票と製品のバーコードをスキャンし、照合を行うことで、ミスの撲滅・在庫データのリアルタイム反映・作業時間の短縮などを表現しています。業務が平準化されたことにより、派遣社員やアルバイトスタッフも直感的に操作でき、ミスなく迅速に出荷作業を行うことができます。



Report 06 増加しているECサイトでの注文に 対応するため、出荷スペースを拡張

ここ数年でECサイトでのお客様の注文が増え、出荷作業をするためスペースの拡張を行いました。それにより作業効率の向上、商品破損防止、誤出荷防止など、出荷業務の向上につながりました。今後も出荷の増加が見込まれます。お客様のお手元に早く正確にお届けできるよう環境の整備に努めます。



Report 02 確かな品質と安心・安全をお届けする きめ細かで徹底したチェック体制

玉野本社工場では生地入荷から製品出荷までの間に複数回の確認・チェックを行い、確かな品質の製品をお届けしています。

- 生地検査… 生地に傷などが無いか目視で確認。
- パーツ検査… 裁断後、縫製前に裁断パーツに傷などが無いか目視で確認。
- 製品検査… 製品が縫製仕様書通りに出来上がっているか、縫い目は正しく美しいか、サイズは正しく仕上がっているかなど全数確認。
- 混入検査… 製品検査を合格後、検針機で針など金属の混入がないかを確認。



Report 03 様々な体型の生徒へ快適な制服をお届け

成長期の生徒が着用する制服は、一人ひとりの体型差をカバーできるような、多くのサイズを展開。既成のサイズでは合わない場合は、別注サイズでの制服も個別に対応しています。さらに、身体の不自由な生徒も着脱しやすいよう、パンツのウエストをゴムに変更したり、ジャケットの背中部分にファスナーを取り付けて開閉できるようにするなどの対応も行っています。トンボの制服を着用するすべての生徒や保護者がより快適に学校生活を送れるように、可能な限りの対応をしています。



身体の不自由な生徒に配慮したジャケット

地域貢献活動

Report 01 宿題お助け隊

美咲工場では毎年夏休みに入った2日間、児童館に来た約40名の小学生を対象に夏休みの宿題のサポートを行っています。漢字や計算など分からないところがあれば、時にはヒントを与えながら一緒に問題を解き、正解に導きます。子ども達や職員に喜ばれています。



Report 02 節分の日 福豆プレゼント

美咲工場では、毎年2月3日節分の日、保育園の園児へ福豆をプレゼントしています。園児の健やかな成長と1年間の無病息災を願い、福豆を届けました。この活動を通じて、地域の方々とのご縁の輪を広げてまいります。



お客様や広く社会との良好なコミュニケーションを大切に

トンボのブランド価値をより一層高め、ステークホルダーとのより良い関係を築いていくために、さまざまな角度からの広報・コミュニケーション活動に取り組んでいます。

Report 01

第15回 トンボ1129デザインコンクールの開催

応募数 **14,478**点

「11月29日 いい服の日」を記念し、「生徒の皆さんに斬新な創造力を発揮して頂く機会を」という趣旨のもと、学校制服や体育着のデザイン・アイデアを募集するコンクールを開催。数々の力作の中から厳正な審査を行って入賞作品を決定し、WEB上で発表しました。



制服デザイン部門 最優秀賞



高校生の部 文部科学大臣賞

Report 02

第39回「WE LOVE トンボ」絵画コンクール

応募数 **142,246**点

当コンクールでは、全国の小・中・高校生が自然と生き物の大切さに気づき、美しい自然のシンボルでもある「トンボ」を学生らしい豊かな発想力で描くことができる機会を提供しています。今後も子ども達の描いた素敵な作品にたくさん出会えることを願い、コンクールの輪を広げてまいります。



© 青山剛昌 / 小学館・読売テレビ・TMS 1996

Report 03

トンボ学生服×名探偵コナン

2010年から続く名探偵コナンを起用した消費者向けキャンペーンでは、コナンたちが制服を着用したイラストのポスターやノベルティを使用し、店舗での訴求を行っています。さらに、人気キャラクターの新一や蘭が通う帝丹高校の制服を3年間着用できるトンボの技術やこだわりを詰め込みリアルに再現。一部店舗やイベントで展示することで制服に触れる機会を広く消費者へ提供し、人生で幾度とない制服を購入する機会をより楽しいものにしていただくキャンペーンとして取り組んでいます。



Report 04

ファジアーノ岡山FCへオフィシャルスポンサー支援

2025年シーズンよりJ1昇格を果たしたファジアーノ岡山FCを、2017年からオフィシャルスポンサーとして応援しています。地域に根差したクラブの活動を支援し、「子どもたちに夢を!」というクラブ理念の実現に貢献できることを誇りに思います。念願のJ1の舞台での活躍を心から期待し、これからも共に岡山を盛り上げてまいります。



Report 05

岡山シーガルズへオフィシャルスポンサー支援

SVリーグ所属のチームで数少ない市民クラブチーム岡山シーガルズをオフィシャルスポンサーとして応援しています。トンボのVICTORYゲームウェアのほか、セレモニージャージやウォームアップウェアなども提供し、選手のパフォーマンス向上をサポートしています。



Report 06

トンボユニフォームLab.(ユニラボ)

現役中高生とともに「私たちの考える【いい服】とは何かを考え、研究しカタチにしながら多くの人にシェアすること」をテーマとして活動しています。トレンドのスクールファッションアイテムの使用感調査や、座談会開催によりリアルな価値観や考え方を調査し、SNSやWEBを通して発信しています。



Report 07

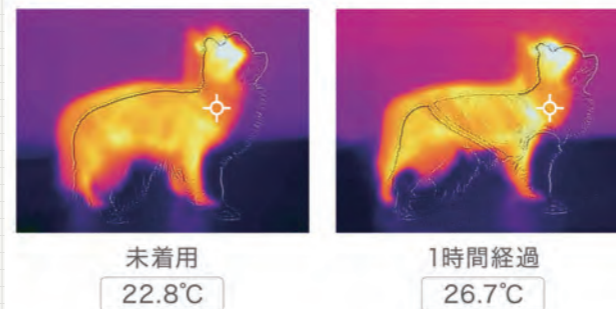
スクーラーレポートビューVol.2発刊

学校のお役に立てるよう、制服にまつわる様々な情報を掲載した先生・生徒向けの情報誌です。制服に関する情報はもちろん、新しい気づきが生まれる情報誌を目指しています。

Report 08

ペット事業 機能性ドッグウェアLaLaRelax発売

愛犬の健康寿命を延ばしたいとの想いから、2014年より販売している歩行補助ハーネスLaLaWalkに続き、着るだけで遠赤外線的作用から血行を促進するような効果が期待できる製品LaLaRelaxを発売しました。

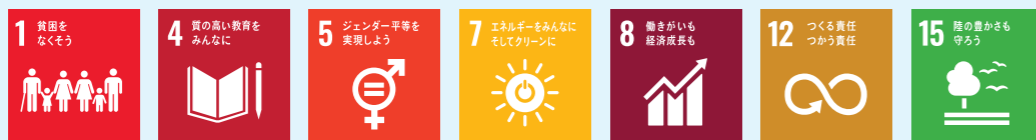


ユニフォームメーカーとして SDGs達成にむけた取り組みを推進

トンボのSDGs基本方針

取り組み内容

トンボは、17のゴールのうち、7つの目標に取り組んでいます。



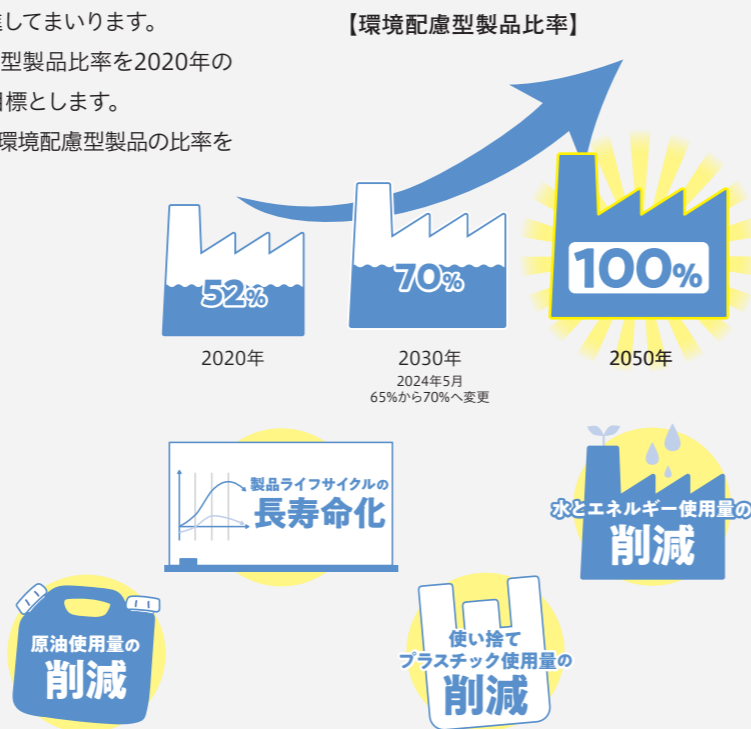
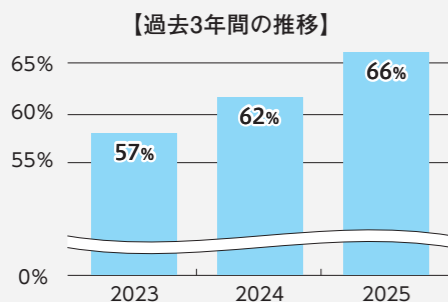
課題と対策

課題	環境配慮型のものづくり推進
① 原油使用量の削減	・再生ポリエステルの使用促進 ・天然由来原料の使用促進
② 製品ライフサイクルの長寿命化	・工業用洗濯対応商品の更なる開発 ・成長設計の更なる取り組み
③ 使い捨てプラスチック使用量の削減	・生分解性バイオプラスチックの使用推進 ・脱プラスチックへの取り組み
④ 水とエネルギー使用量の削減	・無水染色による昇華転写プリント製品の販売促進 ・イージーケア商品と調温機能商品の開発促進

トンボのSDGs設定目標

トンボは、コーポレートスローガンでもある、「人と自然を大切にしたい価値ある製品づくりを」に基づく事業活動によりサステナブル経営を推進してまいります。
SDGsの設定目標は、トンボが作り出す製品の内、環境配慮型製品比率を2020年の52%から、2030年は70%、2050年は100%とすることを目標とします。
今期は、スクール、スポーツ、ヘルスケア各部門の推進により、環境配慮型製品の比率を66%達成することができました。

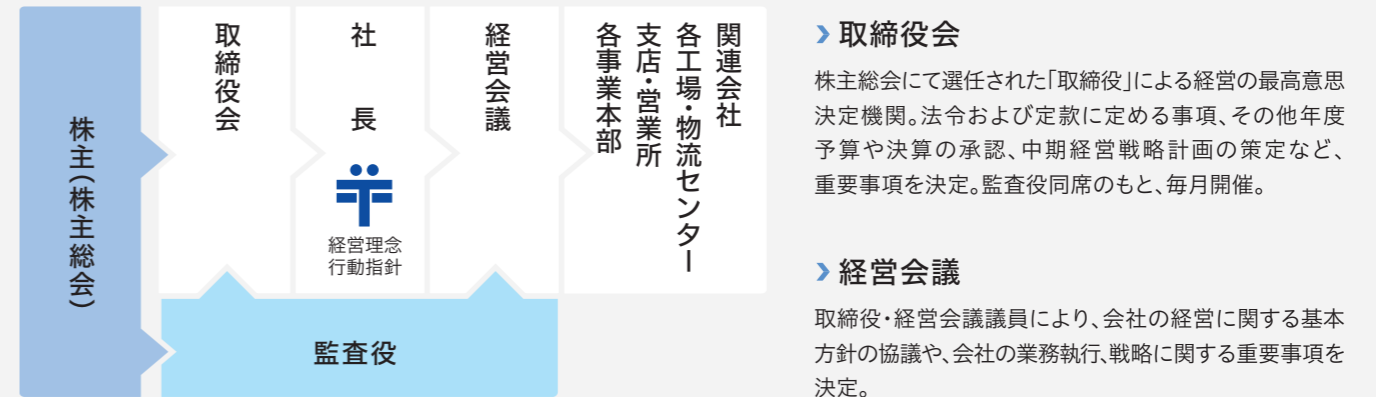
環境配慮型
製品比率 **66%**



コーポレートガバナンス体制 およびCSR推進体制の構築・維持

コーポレートガバナンス ※6

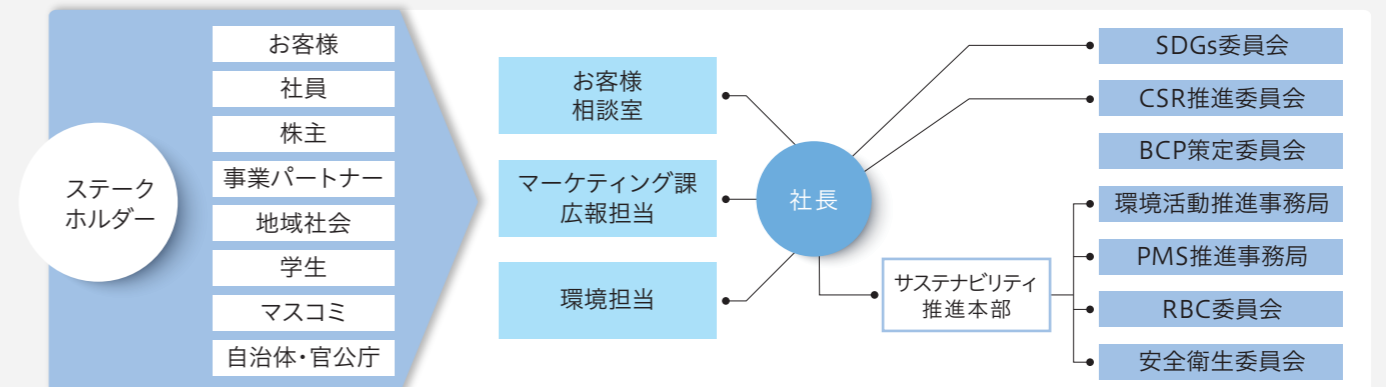
当社は、ステークホルダー^{※7}との良好な関係のもと、客観性・透明性の高いガバナンス体制の構築と、持続的な企業価値の向上をめざし、「取締役会」および「経営会議」による迅速かつ正確な意思決定を行い、各事業部門にて業務を執行しています。



CSR推進体制

CSRの取り組みを進める社内体制として、社長直轄の「サステナビリティ推進本部」を組織するとともに定期的に委員会や事務局会議を開催し、活動を推進しています。

- 社内外のコミュニケーション活動 **お客様相談室** **マーケティング課広報担当** **環境担当**
- 持続的開発目標達成に向けての活動推進 **SDGs委員会**
- CSRレポートの発刊及びCSR活動の推進 **CSR推進委員会**
- 災害や緊急事態に備える事業継続計画の策定 **BCP策定委員会**
- 環境保護活動の維持 **環境活動推進事務局**
- 「JISQ15001」^{※8}に沿った個人情報保護のマネジメントシステムの構築と維持拡充 **PMS推進事務局**
- 社会的・倫理的責任を果たし、労働者の人権を守る為の取り組みを推進 **RBC^{※9}委員会**
- 安全衛生面の改善活動 **安全衛生委員会**



※6 コーポレートガバナンス:企業統治、内部統制。企業が社会や個人のために、健全で持続的な企業活動を行うための仕組み。
※7 ステークホルダー:企業活動に関する利害関係者。
※8 JISQ15001:プライバシーマークの認定基準の日本工業規格。「個人情報保護マネジメントシステムの要求事項」。
※9 RBC(Responsible Business Conduct):責任ある企業行動。

PMS体制

トンボでは、制服等の製造販売において取扱うお客様の個人情報を適切に保護することが事業活動の重要事項であり、また社会的責務と考えています。その実践として、Pマーク認証を取得するとともに、社内にPMS推進事務局を設置。個人情報保護マネジメントシステムを構築し、また継続的改善に取り組んでいます。



27000112

社会の一翼を担う企業として、 教育・文化・福祉などに貢献

パラリンアート支援

一般社団法人障がい者自立推進機構の取組みに賛同し、障がい者アーティストの作品をトンボCSRレポートの表紙に使用しています。今回は、アーティストKOTO氏にオリジナルで描いていただきました。これからもパラリンアートのシルバーパートナーとして、この取組みを応援していきます。



《作者》KOTO 《作品名》トンボと未来に進むウエア

《作品に対する想い》

自然豊かな世界の中、みんな笑顔で虹をわたって幸せな未来に進む感じを描きました。絵を見た人も笑顔になってくれるとうれしいです。

NPO法人日本スコットランド 交流協会トンボ学生服奨学金

NPO法人日本スコットランド交流協会を通じて、高校生の英語学習の支援を行っています。

<オンライン英語研修>

2024年7月29日～8月9日、スコットランドにある英国国立スターリング大学のオンラインによる高校生英語研修コースが開催され、高校生11名が参加しました。



児童招待公演「こころの劇場」への支援活動

心豊かな社会の実現を目指して、日本全国の子供たちに演劇の感動を届ける「こころの劇場」の岡山公演上演活動をサポートしています。今期は劇団四季の演目「ふたりのロッチェ」を合計6回上演し、岡山県内107校8,100名の小学生を招待しました。これからも未来を担う子ども達をサポートしていきます。



撮影者：荒井健



公益財団法人 八正会

公益財団法人八正会は、岡山県内の高校生を対象に、返済不要の奨学金を給付している育英事業団です。1960年に設立され、これまでに約800名の生徒を送り出しています。



持続可能な社会の実現に向けた 取り組みの輪を広げていくために

トンボ学生服×花王 SDGsを制服から考える取り組み

制服を長くきれいに着用してもらい、サステナブルファッションの実現に貢献したいという共通の想いから、共同で取り組みを推進しています。花王研究所での制服洗濯検証を実施するほか、制服が長く着続けることができる理由や綺麗に保つ洗剤選びのポイントなどをSDGsセミナーとして学校で開催。また、新入生へ家庭洗濯チャレンジ応援として制服と一緒に洗濯に適する「エマール」と洗い方リーフレットのプレゼントなども行い、環境負荷のかかりにくい家庭での手入れを啓発し、1着をより長く綺麗に着続けていただくための取り組みを今後も継続していきます。



LGBTQ講演会

教育現場では、多様性の一つとしてLGBTQへの関心が年々高まっています。トンボは2018年より一般社団法人ELLY代表の山口颯一さんとアドバイザー契約を結んでいます。学校全体で多様な性への理解を深めるために、2024年は全国で14回講演会を開催しました。



一般社団法人 ELLY代表理事
山口 颯一

三重県伊勢市生まれ。「誰もが過ごしやすいまち」を目指し、人権やLGBTQについての講演会を年間200回以上実施。2018年よりトンボとアドバイザー契約を結び、商品開発にも参画。

着用済みの制服を回収して社会に貢献

生徒が着用した制服を回収し、リサイクルする取り組みを行っています。総合アパレルメーカーの株式会社カイトックファミリーと協業し、回収した制服は「MUDA ZERO プロジェクト」により、衣料品や糸、生地として生まれ変わります。

対象 / 混率を限定しない制服・シャツ・体操着

MUDA ZERO PROJECT

服を回収しリサイクル

服の廃棄ゼロへ

注意事項

- ポケットの中のものを出してください
- 氏名の記入がある場合は塗りつぶしてください
- 回収できない製品については右記を参照してください
- クリーニングは不要です
- リユースが目的ではありませんので、襟、袖などにハサミを入れて廃棄物とわかるようにしておいてください

回収できない製品

ソックス
 靴子
 ローフター

学生服の裾ファー

レインウェア

紙など

タオル類

トンボ学生服

働きやすく、働きがいも実感できる より良い職場環境めざして

■ 仕事と家庭を両立する会

子育て世代を中心に、仕事と家庭の両立支援を目的として年2回開催しています。

毎回トーカーテーマを設定しパネラーを中心に、ざっくばらんに社員が日頃の家庭や仕事での工夫、悩みを共有しています。2024年度は産後パパ育休の取得体験談や在宅ワークの活用方法、会社の制度の利用方法について、意見交換が活発に行われました。多様な働き方を尊重し、男女問わず仕事と家庭の両立をしながら長期的に働ける環境作りを進めることで、社員がより安心して働ける職場づくりを目指しています。



■ 若手社員サポート

若手社員の成長を支援するため、段階的な面談を実施しています。入社1年目は人事部が業務の進捗や不安を解消、2年目は直属の上司、3年目は総務部長とのキャリア形成支援を行い、4~5年目は再び人事部が中堅社員の課題解決をサポートしています。困難や不安を解消し、社員の成長を促進する環境作りを強化しています。



■ 新入社員サポート

営業部門では、配属後1年間、他部署の先輩社員がパートナーとなり毎月定期面談を行っています。新入社員の疑問や悩みを共有することで緊張や不安を軽減でき、先輩社員の育成力向上にもつながっています。生産物流部門では、配属1ヶ月後、半年後、2年目、3年目の各社員にヒアリングや交換日記を行い、研修に加えて成長の一助としています。



■ 産後パパ育休制度を利用して スクール商品課 片岡 宏紀

2025年4月末から2回に分けて産後パパ育休を取得しました。会社からも積極的に育休を取るよう勧められたことで、この制度を利用しやすかったです。実際に取得してみて、課内のサポートにより休み中は仕事の連絡が来ることなく、育児に専念することができました。新生児期は特に母親と父親の協力が必要だと感じたので、どの部署、どの職種でも産後パパ育休が取得できると良いなと感じました。

短期社内留学 8人 (2024年実績)

担当業務に関連する他部署の仕事を体験

担当業務に関連する他部署の仕事を体験する事により、業務知識や技術を幅広く学び、スムーズな業務連携ができるようになります。この制度を通じ、部門間の連携を深め円滑な業務の推進に結び付けています。

勤務間インターバル制度

健康保持、過重労働の防止

1日の勤務終了後、翌日の勤務開始までに一定以上の休息時間を確保する制度を設けています。

こころの健康相談室 11人 (2024年実績)

社員が何でも相談できる社外の第三者機関

社員が気軽に何でも相談できるように、社外の第三者機関に「こころの健康相談室」を設けています。メンタル不調の予防や早期発見、復職後のフォローなど、企業全体としての生産性の維持と向上に努めています。

リモートワーク環境整備

在宅勤務規定に基づき、リモートアクセス用パソコンを使用したリモートワークの環境を整備しています。

制度利用者 (2024年実績)

■ 育児休業制度 男性 2人 女性 12人

■ 産後パパ育休制度 男性 5人

■ 育児短時間勤務制度利用者 40人

■ 育休後の復帰率 100%

トンボスクール

トンボスクール体系

人材育成機関であるトンボスクールでは、「社員は人財」との基本方針に則り、能力開発研修、自己啓発支援、資格取得支援の3つの柱を中心に構成しています。

階層別、専門別に能力開発を支援

能力開発研修

社内研修

- ①管理職研修
 - ・新任役職者研修
 - ・評価者研修
 - ・コーチングスキル研修
- ②階層別研修
 - ・新入社員研修、新入社員フォロー研修
 - ・チームワークトレーニング研修
 - ・2年目研修
 - ・3年目研修
 - ・技能職研修 初級(3年目)
 - ・4年目研修
 - ・キャリア開発研修(5年目)
- ③専門別研修
 - ・営業基礎力実践強化研修
- ④一般研修
 - ・OJTリーダー育成研修
 - ・キャリアデザイン研修(54歳、57歳)
 - ・DX人材育成プログラム
 - ・ハラスメント研修

外部研修

- ①幹部育成研修
 - ・幹部候補生スクール
- ②公開講座
 - ・コミュニケーション
 - ・リスク管理
 - ・ビジネスデザイン
 - ・ビジネススキル
 - ・マネジメント
 - ・業務改善など

自己啓発支援

自己啓発と人事制度の両面から、社員の通信教育受講を推奨しています。通信教育講座は、事前に会社推薦や部門推薦コースを設定しており、受講期間中に修了した場合には、受講料の援助金を給付しています。2024年実績:受講者194人・修了率92.3%

資格取得支援

社員一人ひとりのスキルアップを目的に、資格取得を応援しています。繊維製品品質管理士、技能士(縫製、パターン、機械設備)、販売士検定など会社が奨励する資格取得者には、お祝い金を支給しています。